種名	ショウザンミドリシジミ Favonius taxila
分類	シジミチョウ科
形態	前翅長 14～22mm。原記載でミドリシジミと混同され、最近再び学名が変更された。本州中部地方以北の山路では、個体数がもっとも多い。北海道産は小型、裏面の地色が灰白色。本州以南では褐色をおび、大型になる。裏面の中央部になる白色条は細く、北海道産では外側に流れる個体がある。♂の翅表は青緑色に輝き、後翅外縁の黒帯は、途中でいったん細くなる。♀は黒褐色。前翅に黄白色斑をもつ。まれに青色鱗粉を散布するものがある。
分布	北海道（利尻島・奥尻島を含む）、本州（佐渡島を含む）。本州の暖地では山地性、分布は限られる。山口県東部まで分布する。
出現期	年1回、6月下旬から羽化を始め、7月が最盛期。山地では8月にも多い。♀の羽化は♂より遅れ、9～10 月まで生き残ることがある。卵（卵内初齢幼虫）で越冬する。
生態	おもに山地のミズナラ林に棲み、低地のコナラ林にも見られる。早朝から活動を始め、日の出前にも飛ぶことがある。♂は地上で吸水することが多く、♀はミズナラの樹液を吸う。また、クリ・ノリウツギの花でも吸蜜する。♂は占有行動をとる。林縁の枝先や下草にとまり、数頭がからみあって飛ぶ。午後4時を過ぎるとほとんど飛ばなくなる。♀は不活発で、日中に翅を開いて日光浴をする。
食樹	ブナ科のミズナラが主。コナラ、カシワも食べる。
幼虫 （幼生期）	体長 19mm。地色は変化に富み、茶褐色（紅色をおびる）が多く、黄色の個体もある。
出現時期	（月） ー ー ー ー ー 6 7 8 9 10 ー ー
その他	

参考文献：検索入門　渡辺康之著　チョウ